

☆作業日あれこれ

6月の定例作業日は、前日に梅雨入りし、それらしい雨の降る中でのスタートとなりました。やはり天気が悪いと参加者も少なく、今日は何人来るのやと空を見上げました



ベンチのリニューアル

が、どうしようもないことであります。ちなみに最終的には参加者は30人余りだったようです。観察会は三平モドキが担当ですが、この天候のために作業小屋の前で特定外来生物に指定されている植物について解説を始めました。特定外来生物に指定されると、飼育・栽培、保管・運搬、野外に放ったり植えたりすることが禁止され、違反した場合、個人なら300万円以下、法人なら1億円以下の罰金が科されるとのことです。魚類では、特定外来生物にブルーギル、オクチバス、コクチバスが指定されており、解説によれば、釣ってその場所に放すことはよい(滋賀県では県条例でキャッチ・アンド・リリースは禁止!)が、持ち帰れば運搬にあたり、罰金の対象になるのだとか。釣り大会で大物を判定するために持ち寄って大きさを測ることは運搬にあたり禁止行為だそうです。さて、彼がこの法律を出してきたのは、今年、愛知川の河原に目立つ黄色い花であり、特定外来種に指定されているオキナギギクを話題にするためなのですが、これについては昨年の河辺林通信7月号で今後拡大するだろうと書いた悪い予想が的中したのです。今年この森付近の河原がこの花で埋め尽くされ、見事に黄色い絨毯状態でした。この地域で拡大した原因は、新設道路の法面緑化をするために散布した混合種子の中に含まれていたためではないかとも書いていますが、この黄色い花、オキナギギクは丈夫なので畦道などの緑化植物として奨励された時代もあり、バスなどとは異なり公が野に放った責任がありそうです。愛知川の河道一面を占める植物はこの30年間、ミドリナゲショ、カラハナ、オキナギギクと安定することなく推移してきましたが、今の考えではこいつだけはしばらく安定しそうな気がします。ミドリナゲショやカラハナ

は、洪水によるダムの大放水で流されてしまいその栄華は一時のこととなりましたが、オキナギギクは河道だけでなくその原因となったと考えられる堤防や接する道路の法面にも生えており、河の中の種子が洪水で流されてもしばらくすれば河の外から種子が再び供給されると考えるからです。そうだとすると大洪水が発生した次の年から河道よりはかなり少ない堤防周辺のオキナギギクを種子が熟すまでに徹底的に退治すれば根絶が計れるかも知れません。今年の群落の規模から言えば少々の労力では駆除できないと判断したので、こうした提案を記事にしておきます。外来生物、指定されていなくてもその環境になかった生物を持ち込むことは要注意です。



竹の根っこ調査中!

雨ですがもちろん野外作業もしました。まずベリッも動員して水辺ではオミドロ、コナダモの除去です。網ですくって陸にあげるわけですが、小さな池なのにいくらやっても減らなかったとか。小屋の前のテントの中では、キャンプなどで使用する焚き付けを鉈を使って作っていました。「みどりのつどい」の時には間に合わなかったハクノ筍は、今年は比較的豊作で、間引いた筍をお昼のために確保し、下流の水辺の周りでは細竹刈りも実施しました。筍班はその後、大先生の指導で実山椒摘みとその下準備、お昼の食材としました。

雨ですがもちろん野外作業もしました。まずベリッも動員して水辺ではオミドロ、コナダモの除去です。網ですくって陸にあげるわけですが、小さな池なのにいくらやっても減らなかったとか。小屋の前のテントの中では、キャンプなどで使用する焚き付けを鉈を使って作っていました。「みどりのつどい」の時には間に合わなかったハクノ筍は、今年は比較的豊作で、間引いた筍をお昼のために確保し、下流の水辺の周りでは細竹刈りも実施しました。筍班はその後、大先生の指導で実山椒摘みとその下準備、お昼の食材としました。

お昼はハクノ筍のフジヤロース、蒸し焼き、筍御飯など、筍がメインでおいしくいただきましたが、この日、新人には青森からやって来たネチャー・フォトグラファーがおり、彼の撮った写真やフクロウの写真集を見ながら大いに盛り上がり、午後にも作業を続ける班があるというのに、今は気がついたのは送られて家に着いた時でありました。ホームページの森の歳時記にはその様子がきちんとアップされております。耳元には吉幾三そのままの彼の言葉が今も焼き付いておりますが、トラ御用達テーブルの面々は、誠に失礼ではありますが、彼を「戦場に行かなかった売れない写真家」と呼ぶことにしたような気がしております。またの参加をお待ちしています!

7月の作業日は

7月25日(水曜日) 週日活动 森の居酒屋は7月11日 午後7時頃～

7月14日(第2土曜日) 9時～(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先 (遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL: <http://www.yurinkai.org/>

E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索!

梅雨の中休み、爽やかな日となった第4水曜日は21人で作業を実施しました。本日は水曜日には珍しく3種類の作業を実施。ひとつは6月の「木ままクラブ」からスタートした、くさはら広場のテーブル・ベンチの改修作業です。これには木まの常連さんを中心にベテラン組が取りかかります。二つ目は今年の冬にけき広場に移植した苗木周辺の丁寧な手刈り作業、そしてもうひとつはサ等の機械刈り作業です。しかし3班に分かれるほどの人数でもなかったため、機械刈り作業は中止か？と思われたのですが、今度来る子どもたちが使用する場所がサに覆われているため、これは何としても刈らねばということでマルが一人で機械刈りをする事になり、予定通り3つの作業を実施できました。

テーブル・ベンチ作りは、マル設計事務所からの依頼を木まま工務店・城棟梁がこなしていくという様相です。材料は永源寺森林組合から購入したサの木、直径35cm、長さ150cmの半割ものを使います。チェーンソーで荒削り、寸法合わせ、穴開け、塗装など仕事はたくさんあります。テーブルの基礎などはそのままのものを使っているので、どうしても最後は現場合わせになるので、その都度手直しします。また、基礎自体が腐っているときもあり、想定外の仕事が続くこともあります。

お昼は麻婆茄子にラウト、牛肉入り豆腐汁、豆のごま和えなど多種多様。重労働の体をいたわってくれるごちそうでした。

午後から女性班は子どもたちの工作材料のための枝の採取、マルは引き続き一人でけき広場の草刈り、そしてベテラン組はテーブル・ベンチ作りの続き。テーブル・ベンチ作りは4時過ぎまで行われ、テーブルが4つ完成しました。

☆6月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。6月は2回の活動を行いました。

6/14 10人 くさはら広場のテーブル・ベンチ改修計画スタートです。まずは丸太の仕分け、両端の切断、運搬、皮むきなどでこの日は終了しました。

6/21 7人 引き続きテーブル・ベンチ改修作業。4基改修予定で、本日1基が完成、もう1基も組み立てれば完了、というところまで出来ました。7月は5日が活動日です

☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

小学4年生のやまのこ事業、東近江のやまの子キャンプ研修、モリイコ！、幼稚園や保育園などの親子広場や中学生まで、40団体、1,400人の対応があり、6月も大忙しの毎日でした！そんな中で、小学4年生のやまのこ事業は6月26日で、一学期の対応は終了。一校台風が接近した日に

来られていたので、すべてのプログラムを行うことができなかったのですが、それ以外は大きなけもなく、無事に終わることができておとしています。

さて、おとしていられるのも束の間で、7月に入ると今度は東近江市のやまの子キャンプ、そして夏休みがせまってきます！夏休みイベントの申し込みが始まったのですが、おかげさまで7月5日現在で134人の申し込みがあり、抽選を行うイベントが多くなりそうです。毎年行っていた『夏休みスペシャルクイズラリー』、今年も行います！しかし、今年はずっと暑い日が続く、8月7日～8月17日までの間は、クイズラリーをお休みし、『夏休みサマーワーク』を行います！ゴールデンウィークの時にいき、多くの方に楽しんでいただいたウォークラリーの夏バージョンです。森の中は家にいるより暑いかもしれませんが、子どもたちが楽しんでくれるプログラムをたくさん用意してお待ちしています！ぜひお越しください！

☆モリイコ！の子どもたち

モリイコ！Sの第2回目は、森の調査隊ということで、虫けやメジャー、バネなど道具を使い調査を行ったり、竹の根っこはどうなっているのか？という調査では、実際にみんなで地面を掘って確かめたりしました。そして、最後は今年が出るのが遅かったタノを自分たちで採り、火をつけ、炭をおこし、焼いて食べました。タノを焼いている時に一緒に笹の葉を焙り、笹の葉茶も作りました。どちらも子どもたちには好評でした！

モリイコ！の第2回目は、テーマが『いきもの』。まずは、隊長(スタッフ)がつかんでおいたいきものに触る練習からです。はじめは「絶対触らない!」と言っていた子も、周りの子たちが触り方を教えてくれたりして、最後は自分で持つことができました。網の振り方の練習も行い、お昼からは森の中へ20種類のいきものさがしに出かけました。小さなバツやサヨリ、カタツムリに、子どもに大人気のササ、黒くてキラキラした小さな虫など20種類以上のいきものをつかまえることができました。

次の回は一段と夏に近づいているので、子どもたちは、また新たな発見をしてくれるのではないのでしょうか。

☆7月の作業は…

暑さ真っ盛りですが草刈りすべきところがたくさんあります。午後からは恒例、遊林会活動開始記念で作業はお休みです。

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！

発行者：東近江市建部北町 河辺いきものの森材センター内 遊林会 世話役 武藤精蔵 Tel 0748-20-5211

この用紙にはkikitoペーパーを使っており、滋賀県湖東地域の森の保全に寄与しています